

第 57 期天理教学生会が目指す 「家族と繋がるあったかい学生会」について

第 57 期天理教学生会は「家族と繋がるあったかい学生会」を理想に掲げて、その実現を目指していきます。それは、学生会に繋がっている仲間、これから繋がる仲間たちみんなと一緒に想いあい、助け合って一人ひとりの居場所を作り、一人ひとりが「をやを求める姿」になる学生会です。

まず、「家族」とは、“居場所”です。ありのままを受け入れてくれるかけがえのない存在が家族だと感じるからこそ、学生会の仲間と家族になりたいのです。仲が深まれば深まるほど、「学生会が楽しい！もっと行きたい！」となることができ、居場所になると思うのです。親神様は、私たちのをやであり、一れつはみな兄弟姉妹とお教えくださっています。だからこそ、仲間たちみんなとでっかい家族になって、陽気ぐらしを実践していきたいのです。

次に「繋がる」とは、“想い合う”ことです。お互いが想い合うことで、助け合いが生まれます。それがどんどん連鎖していき、おたすけの輪が広がっていくのです。学生会は誰かのために一生懸命になれるところです。だからこそ、お互いのことを想い合い、仲間と家族とそして親神様、教祖と心から繋がっていききたいのです。

最後に「あったかい」とは、“助け合う”ことです。親神様は、人間が陽気ぐらしをするのを見て、共に楽しみたいという思いで、私たち人間をお創りくださいました。私たち人間の目指す陽気ぐらしとは、ただ一人ひとりが明るく楽しく陽気に暮らせていればいい訳ではありません。一人ひとりが誰かのためにも思いやりの心を持ち、お互いに助け合うことが大切なのです。私たちが助け合う姿は、とてもあったかく、親神様、教祖もその姿を見て、お喜びくださるに違いありません。

全国の仲間たちとでっかい家族となって、みんなが助かる学生会を全国のみならず共に作っていききたいです。どうぞよろしくお願ひします。